

第3回 新潟島中心部交通政策検討協議会

開催日時	平成18年7月31日(月) 午後1:30~3:00
場所	新潟市 本館 301会議室
市・都市交通	<p>1. 挨拶 会長 新潟市都市計画部長</p> <p>2. 交通政策の検討について 説明：事務局 新潟市都市交通政策課</p>
中心街	<p>本題に関係のない意見が多いので抑えてもらいたい。 規制解除をしてもらいたいとってきたのは、「非常に分かりづらい」ということが問題であること。万代島ルート of 整備に併せて規制解除をやらなければならない。細かいことを言っても、規制解除はやってみないと分からない。時代が求めている。今回に決めないと H19 に間に合わないのでは。</p>
礎	<p>最も大事なことは1車線の容量で交通量をいくつ流せるか。私は東西堀は2車線で間に合うと思っている。 それから、市長は「今年度中に専用レーンをつくる」を言っている。これが、資料に反映されていないといけないのでは。将来的な新交通システムについても、見据えていかないのではないかと。短・中・長期に分けて考えるべき。 勘違いしないでもらいたいのは、「交通は手段」ということ。快適な生活が大事なことであり、歩道の整備なども大事なことである。</p>
会長	<p>交通量について、県警さんが出してもらった資料で、停車していると感知器は機械なので不確定な部分もあるため、今後交通量調査を行ないたいと考えています。</p>
上古町	<p>資料の間違いですが、新川小路は交互通行ではなく、一方通行である。 ケース2、3ではパーキングメーターが撤去となっていますが、代替で設置する場所とかは考えているのか。上古町では、来年度歩車道の整備を予定している。一部パーキングメーターを設置できないか。 非常にスピードを出していく車が出て、子供などには非常に危険である。パーキングメーターの空間が取れるなら、道路を曲げるなどして設置できればいいが。</p>
事務局	<p>関係課と調整しながら、検討していきたい。</p>

中央署	<p>2つ大きな危惧がある。</p> <p>一つは、住民の合意はどのようにやっていくのか。住民の声はきちんと聞くべき。</p> <p>二つ目は、規制は何が目的か。現在の規制は昭和40年代のモータリゼーションにより、交通渋滞が発生し総合交通規制をしいた。時代の流れだから必要があれば解除もありえると思う。中心部での人身事故は約400～500件で、物損は5倍にもなる。規制は事故防止にもなっている。我々は事故を減らすために「規制」「安全教育」「交通環境の整備」という3点をやっている。道路管理者は我関せずということにはいかない。どういう風に考えているのか後で聞かせてもらう。</p>
駐車場	<p>我々は中心街がいかに繁盛するかを考えている。ピーク時から比べると、街中に入ってきている交通量は少なくなってきたことから、規制解除して普通に入ってきてもらいたいと思う。</p>
トラック協会	<p>6月1日からの駐車法制の改正により、取締りが厳しくなっている。新堀通りや東堀通の郵便局脇など貨物用（荷捌き）に場所を確保してもらいたい。</p> <p>3. 意見の聞き取りについて</p> <p>説明：都市交通政策課</p>
中心街	<p>スケジュールが良く分からないので教えていただきたい。</p>
事務局	<p>今回の聞き取りの結果は9月に報告し、それに基づき交通量や詳細図作成などを行い、概ね11月頃にお示しできればと思う。</p>
中心街	<p>それでH19の万代島ルート整備とあわせて規制解除はできるのか。</p>
会長	<p>できるようにしていきたい。</p> <p>了</p>